まち塾＠まちライブラリー

まちを元気にする“学縁”

「100のまち、100のものがたり、10000人の元気人」を探し、まちを元気にする「まち塾」が2011 年スタートします。東京、大阪、和歌山と各地で展開する「まちの元気人」探訪の旅がはじまります。たくさんの志ある方のご参加をお待ちしております。

まち塾＠まちライブラリー

まちを元気にする“学縁”

1．　まち塾とは

「まち」で働き、生活する人が、「まち」を自分の目線で活き活きとさせるための塾です。

「まち」毎に「まちライブラリー」（学びあいの場）を設け、そこで受講者自らが課題を持ち込み、グループで議論し、「まち」を元気にするプランを作り、実行していくことを目指しています。

マクロな課題から問題解決を図るのではなく、ミクロ（自らの夢や課題）に迫りつづけ、ひたすらミクロにこだわる。その先に、結果としてまち全体がかわっていくかもしれません。

そんな動きをつくりだすため「学びあい」という手法をつかいたいと思います。

「学びあい」によって、「自分」と「他者」の「縁辺部」で、両者をむすびつけようとする「あるチカラ」（縁）がはたらきます。

「学縁」とは、「学びあい」によって「縁」のはたらきを活発化させる一連の活動のことです。

まち塾での「学縁活動」を、是非皆さんと一緒に遊びたいと思います。

まち塾実行委員会

委員長　　友成真一

「学びあい」のチカラが「縁」を活発化する

血縁、地縁が薄れていく現代社会の中で「学びあい」を通じて人の縁が深まるような社会をつくりたいと思ってはじめたのが「まち塾＆まちライブラリー」です。

「学びあい」ながら地域のなかで、個と個の関係性が深まるのが“学縁”です。

2．「まち塾」では何ができるのか？

「まち塾」には三つの入口があります。

一つ目は、「まち夢」グループ。
（東京、大阪、和歌山）
普段の生活の中で「まち」を活性化するアイデアを持ち寄り、実現を目指します。例えば、「まちのコミュニティカフェを開きたい」「お年寄りと子どものデイスポットを開きたい」「まちイベントを開きたい」などアイデア持ち寄る人とその夢をサポートする二つの役割を担っていただきながら学びあい、実現していく道筋を見つけていきます。

二つ目は「まち旅」グループです。（全国）
各まちを探訪し、そこでまちの活性化に努力している人たちと議論するグループです。都会の一角で頑張っている人。山や海のある地域で活躍する人を訪ねて、学びあいの輪を広げていきます。

三つ目は「まちライブラリー」グループです。
（全国）
このグループでは、「まち塾」が開かれる“場”を地域の学びあい人が集うライブラリーに変身させていくグループです。小さくても居心地のよい「まちライブラリー」にし、各地の「まちライブラリー」のネットワークづくりを目指します。

「まち塾案内人」

友成真一

早稲田大学教授

通産省に25年間勤務し、数々の政策立案に携わり9年前から早稲田大学で“マクロ”な罠に陥らずに“ミクロ”に夢を支援しあう「自分経営ゼミ」を開講し「YouME（夢）」方式によって若き学生を育成。

3．　どんな仕組みでやるのか？

まち塾のメンバーになっていただくと「まち塾の案内人」が皆様の目線でまちを学びあうお手伝いをします。入口毎に「まち塾案内人」が皆様の「夢」や「学びあい」のポイントに合わせてプロジェクトの企画に役立つ情報や人を紹介します。

4．　まち塾はどこでやっているの？

「まち塾」は、東京、大阪、和歌山で定期的に開催しています。それ以外にも随時地域に出張講座をしに行きます。詳細は、随時ご案内しますので楽しみにしてください。

5．　ゴールは何か？

「まち塾」には、終わりのないゴールがあります。一人でも多くの人が、まちに関心を持ってくださることが一番の目的です。常に輝くまちになるためにもまちを見守り、まちを育てる人が生まれることを期待しています。

6．　どうしたら参加できるの？

「まち塾」のホームページからアクセスしてください。

http://www.mori-m-foundation.or.jp/machi/

「まち塾案内人」

夏目　承

まち塾レポーター
新聞記者

新聞記者歴25年。男性社会の中での長年の経験や、事件やインタビューなどさまざまな取材を通して、男女の視点の違いなどに着目。「まち」を男女論から分析しています。こだわるテーマは「人」と「地域」、そして「つながり」。

7.　開催の日時

プレ･オープニングトークセッション

2011 年 4 月18日(月)(東京)(別紙参照)

「“ミクロ(ひとり)の視点”でまちを語るタベ」

～まち塾＠まちライブラリーの道標～

2011 年 5 月予定　　(大阪)

「大阪の“まち開き”を語るタベ」

2011 年 7 月予定　　(和歌山)

「和歌山の“まち開き”を語るタベ」

■スタート

東京まち塾　　5月23日　月曜日 19 時より

大阪まち塾　　未定(別途ご案内)

和歌山まち塾　未定(別途ご案内)

■東京まち塾　テーマ

「ミクロ(ひとり)の“夢”がまちを活かす！」

■大阪まち塾　テーマ

「まちライブラリーが大阪を変える！」

■和歌山まち塾　テーマ

「和歌山を元気にする 1000 人の輪！」

「まち塾案内人」

友廣裕一

地域おこしの旅人

「YouME(夢)」ゼミ卒業生で単身、日本全国の限界集落を中心に80以上の農山漁村を廻った経験を活かし、地域おこしを助ける旅の伝道師となる。「人がつながる地域の活性化は？」が現在のテーマです。

8.　交流講座

各地のまちで頑張る人やグループと
交流講座も実施します。「地域の目とよそ者の目」どちらも大切にしたいです。
その場に行かなければ、“学縁”は広がらない！

9.　学びあいの場所

東京　六本木ヒルズ森タワー巨大模型ルーム
　　西麻布 co-lab
　　墨田区京島アカリヤ（長屋）他

大阪　大阪府立大学中之島キャンパス
　　大阪市中央区アイエスラブラリー

和歌山「みんなの学校」「MilkyWay 図書館」

10.　ご参加は各地のご案内をご覧ください

＊詳細のカリキュラム、参加方法、参加費等を記載しております。

「まち塾案内人」

礒井純充

まち塾提唱者

森ビルが主催していた「アーク都市塾」を 24 年前に立ち上げ、「六本木アカデミーヒルズ」まで携わり、石の上にも 20 年の人。「まち塾、まちライブラリー」の賛同者を増やし、まちから日本を元気にしたいと思っています。現在、森記念財団に在籍。

11. 実行体制

主催　まち塾実行委員会
後援　財団法人　森記念財団
協力　西麻布 co-lab
　　早稲田大学社会連携研究所
　　大阪府立大学観光産業戦略研究所
　　和歌山市「みんなの学校」「Milky Way 図書館」

特別顧問　　竹中平蔵（アカデミーヒルズ理事長）
同上　　橋爪紳也（大阪府立大学教授）
同上　　リチャード・ベンダー（カリフォルニア大学バークレー校名誉学部長）

実行委員長　友成真一（早稲田大学教授）
副委員長　礒井純充（まち塾提唱者）
委員　　夏目承（まち塾レポーター・新聞記者）
委員　　田中陽明（co-lab 企画運営責任者）
委員　　友廣裕一
事務局長　礒井純充、 事務局次長　友廣裕一
大阪まち塾世話人　　高橋健三
和歌山まち塾世話人　次田尚弘
ボランティアでまち塾を支えていただいて下さるフェローは、右記方々です。

12. お問合せ

まち塾実行委員会事務局（森記念財団内）

「まち塾＠まちライブラリー」係　担当　礒井（いそい）
電話　03－6406－6800　　FAX　03-6406－6801
e-mail　machijyuku@gmail.com
WEB　　http://www.mori-m-foundation.or.jp/machi/
Twitter　　http://twitter.com/machijyuku

「まち塾フェロー」

アサダワタル
住み開き提唱者

石田通夫
和歌山まちライブラリー
「Milky Way 館長」

笠原啓史
木の建築家

内田友紀
まち塾ファシリテーター

里形玲子
杉並まちライブラリー提唱者

菅原和利
まち塾ファシリテーター

高橋健三
大阪まち塾世話人

田中陽明
西麻布 Co-lab 責任者

次田尚弘
和歌山まち塾世話人

中村健太
東京仕事百貨

前川浩平
まち塾システムデザイナー

牧村真帆
まち塾ファシリテーター

望月彩子
まち塾ファシリテーター

村上玲子
まち塾 BOOK コーディネーター

山内美陽子
空庭提唱者、里山担当

山岸早苗
まち塾ファシリテーター

山口翠
四国まちライブラリー委員長

米田雅明
まち塾 Books コーディネーター

推薦のことば

まち塾実行委員会特別顧問

竹中平蔵（アカデミーヒルズ理事長）

まちの活性化は、日本経済発展のためにも必要不可欠な要素です。この「まち塾＠まちライブラリー」は、マクロからの視点ではなく、ミクロからの視点からまちの活性化にアプローチするものです。一方、全体から見た視点も大事に思います。その点、多地点間のネットワークを大事にしているこの「まち塾＠まちライブラリー」は非常に興味深い試みといえます。政策を立案する立場の人も地域で活躍する人も参加され、大いに議論し、実践的な活動を実施されることを期待しています。

まち塾実行委員会特別顧問

橋爪紳也（大阪府立大学教授）

私たちは国際的な都市間競争に直面しています。私は、大阪や東京を始めとする日本の諸都市が競争力を高めるには、都市の構成要素である「まち」に根ざした文化創意産業の育成や知的産業の起業が急務だと考えます。複数の文化交流拠点づくりとそのネットワーク化をはかる「まち塾＠まちライブラリー」は、地域発の新たな文化活動をまきおこす可能性を秘めています。新たな試みはしばしば困難を伴いますが、都市人の本質である「遊び心」「自由闊達さ」を失わず、活動の輪を拡げていきたいと考えます。大阪府立大学観光産業戦略研究所でも関連する共同研究を立ち上げ「まち塾＠まちライブラリー」の進展と成果を検証して参りたいと思います。